

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

2011年11月15日(火)

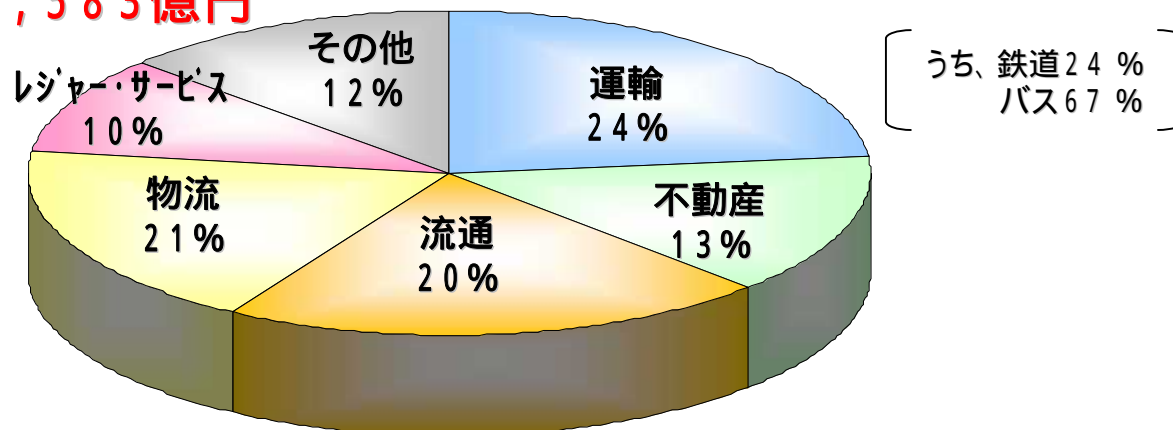
# 連結営業概況(第2四半期)



グループ会社：子会社75社、関連会社9社

- 特長
- 福岡を事業基盤とする生活関連企業...運輸業、不動産業、流通業など
  - 西鉄ブランドを基盤に域外展開...国際物流事業、ホテル事業など

連結営業収益 1,583億円



セグメント	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・サービス業	その他
営業収益	424億円	231億円	346億円	362億円	169億円	222億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 鉄道</li> <li>➢ バス</li> <li>➢ タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 賃貸</li> <li>➢ 分譲</li> <li>➢ 管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ストア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国際物流</li> <li>➢ 国内物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ホテル</li> <li>➢ 旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 車両整備</li> <li>➢ 建設</li> </ul>

# 連結損益の実績(全業)



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	1,583億円	1,566億円	17億円	1.1%
営業利益	56億円	49億円	7億円	14.3%
経常利益	49億円	40億円	10億円	23.9%
四半期純利益	16億円	12億円	5億円	41.3%
減価償却費	98億円	105億円	7億円	6.8%
E B I T D A	155億円	156億円	1億円	0.4%
設備投資	82億円	91億円	8億円	9.2%

➤ **営業収益(増収)**

- 国際物流事業において、海外子会社での取扱高が増加

➤ **営業利益・経常利益・四半期純利益(各利益とも増益)**

- 各社、各事業において、事業構造の見直しや効率化に努めた結果、前年実績を上回った

全般的には、前半において東日本大震災の影響があったほか、競争の激化もあり、厳しい状況で推移

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)  
設備投資は単純集計です。

# セグメント別損益状況

# 1. 運輸業



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	424億円	430億円	5億円	1.2%
営業利益	19億円	17億円	2億円	10.9%
減価償却費	46億円	52億円	7億円	12.8%
E B I T D A	65億円	70億円	5億円	6.9%
設備投資	23億円	39億円	17億円	41.9%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 旅客人員の減(鉄道 1.2%、バス 0.5%)
- 貸切バス事業の規模縮小

➤ 営業利益の主な増減要因

- バス事業での路線効率化等の効果

# ～ 鉄道事業（運輸業の内訳） ～



	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	112億円	114億円	1億円	1.3%
営業利益	14億円	16億円	2億円	10.8%
旅客収入	105億円	106億円	1億円	1.1%
旅客人員	52百万人	53百万人	0.6百万人	1.2%
(定期外)	23百万人	24百万人	0.5百万人	2.3%
(定期)	28百万人	28百万人	0.0百万人	0.2%

▶ 天神大牟田線旅客人員	1.3%	▶ 貝塚線旅客人員	0.4%
● 定期外	2.6%	● 定期外	1.3%
● 定期	0.2%	● 定期	+0.5%

## ～ バス事業（運輸業の内訳） ～



	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	310億円	314億円	(注) 4億円	1.4%
営業利益	5億円	1億円	4億円	757.6%

(注)バス事業内取引を除くと2億円の減収です。

乗合収入	247億円	247億円	0.0億円	0.0%
貸切収入	21億円	24億円	3億円	11.1%
乗合旅客人員	136百万人	137百万人	0.7百万人	0.5%
（定期外）	78百万人	78百万人	0.3百万人	0.5%
一般	74百万人	75百万人	0.4百万人	0.5%
高速	3百万人	3百万人	0.0百万人	0.8%
（定期）	58百万人	58百万人	0.3百万人	0.6%

## 2. 不動産業



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	231億円	234億円	3億円	1.3%
営業利益	34億円	34億円	0.1億円	0.5%
減価償却費	28億円	28億円	0.1億円	0.4%
E B I T D A	62億円	63億円	1億円	1.8%
設備投資	19億円	28億円	10億円	33.9%

### ▶ 営業収益の主な増減要因

- 不動産賃貸事業…新規物件の稼働により増収
- 不動産分譲事業…販売戸数の減(214区画 対前年55区画減)



## ～ 不動産業の内訳～



### （不動産賃貸事業）

	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	132億円	129億円	2億円	1.9%
営業利益	32億円	31億円	1億円	3.5%

### （不動産分譲事業）

	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	63億円	68億円	5億円	7.9%
営業利益	0.1億円	2億円	2億円	111.2%
販売戸数	214区画	269区画	55区画	20.4%
（マンション）	70戸	123戸	53戸	43.1%
（戸建）	144区画	146区画	2区画	1.4%

### 3. 流通業



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	346億円	359億円	13億円	3.7%
営業利益	4億円	4億円	0.1億円	3.6%

減価償却費	4億円	4億円	0.1億円	3.4%
E B I T D A	8億円	8億円	0.2億円	3.4%
設備投資	9億円	4億円	5億円	121.7%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ストア事業…競合店の影響や東日本大震災後の消費マインドの低下などもあり減収

## 4. 物流業



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	362億円	332億円	30億円	8.9%
営業利益	8億円	5億円	4億円	77.8%
減価償却費	3億円	4億円	0.1億円	5.6%
E B I T D A	12億円	8億円	3億円	41.5%
設備投資	2億円	3億円	1億円	21.5%

▶ 営業収益の主な増減要因

- 国際物流事業…海外子会社での取扱高の増加

# ～ 物流業の内訳 ～



## 〈 国際物流事業 〉

	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	364億円	330億円	34億円	10.4%
営業利益	8億円	3億円	5億円	134.5%
航空輸出(重量)	63千トン	64千トン	0.5千トン	0.8%
航空輸入(件数)	190千件	199千件	8千件	4.3%
海運輸出(TEU)	22千TEU	18千TEU	3千TEU	21.1%
海運輸入(TEU)	26千TEU	21千TEU	5千TEU	24.0%

### 参考(海外子会社取扱高)

航空輸出(重量)	34千トン	31千トン	3千トン	10.3%
航空輸入(件数)	130千件	137千件	6千件	5.0%
海運輸出(TEU)	15千TEU	11千TEU	3千TEU	29.4%
海運輸入(TEU)	14千TEU	11千TEU	2千TEU	20.5%

## 5. レジャー・サービス業



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	169億円	169億円	0.2億円	0.1%
営業利益	4億円	0.2億円	3億円	-
減価償却費	10億円	10億円	0.4億円	4.9%
E B I T D A	7億円	10億円	2億円	22.4%
設備投資	25億円	11億円	14億円	130.3%

### ▶ 営業収益の主な増減要因

- 旅行事業、ホテル事業・・・東日本大震災による影響により減収
- その他サービス事業・・・空港ハンドリング業務の新規受託により増収

### ▶ 営業利益の主な増減要因

- ホテル事業において、東京地区を中心とした稼働率の低下

## ～ レジャー・サービス業の内訳 ～



### 〈ホテル事業〉

	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	77億円	75億円	(注) 2億円	2.7%
営業利益	5億円	1億円	4億円	-

(注)ホテル事業内取引を除くと、実質的には0.4億円の減収です。

### 〈旅行事業〉

	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	21億円	23億円	2億円	10.8%
営業利益	1億円	1億円	0.2億円	-

### 〈その他レジャー・サービス業〉

	11年度上期	10年度上期	増 減	増減率
営業収益	97億円	94億円	4億円	3.7%
営業利益	4億円	2億円	2億円	80.3%

## 6. その他



	11年度上期	10年度上期	増減	増減率
営業収益	222億円	222億円	0.1億円	0.1%
営業利益	3億円	9億円	6億円	-
減価償却費	7億円	7億円	1億円	9.1%
E B I T D A	4億円	2億円	5億円	-
設備投資	5億円	5億円	0.3億円	5.6%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 車両整備関連事業…前期バス車体製造事業の廃止

# 連結貸借対照表



		11 / 9月末	11 / 3月末	増 減
総資産	流動資産	815億円	795億円	20億円
	固定資産	3,148億円	3,175億円	27億円
	合計	3,963億円	3,970億円	6億円
負債 純資産	流動負債	972億円	984億円	13億円
	固定負債	1,925億円	1,919億円	6億円
	(有利子負債残高)	1,742億円	1,761億円	19億円
	負債合計	2,897億円	2,903億円	7億円
	純資産合計	1,066億円	1,066億円	0.4億円
合計		3,963億円	3,970億円	6億円

➤ 総資産の主な増減要因

- 販売土地及び建物の増
- 有形・無形固定資産の減
- 投資有価証券の時価下落による減

➤ 負債の主な増減要因

- 支払手形及び買掛金の減
- 長期預り保証金の増

➤ 純資産の主な増減要因

- 四半期純利益の計上等による利益剰余金の増
- 株式時価下落による評価差額の減



# 連結キャッシュ・フロー



	11年度上期	10年度上期	増減
営業活動	106億円	113億円	7億円
(税引前四半期純利益)	40億円	33億円	7億円
(減価償却費)	98億円	105億円	7億円
投資活動	73億円	70億円	4億円
(固定資産の取得)	86億円	83億円	3億円
財務活動	35億円	49億円	13億円
(借入金・社債)	19億円	34億円	15億円
現金等の四半期末残高	261億円	268億円	7億円

# 東日本大震災、JR博多シティ開業及び九州新幹線全線開通後の状況



## 運輸業 「旅客収入」前年増減率

	第1四半期(4月～6月)	→	第2四半期(7月～9月)
鉄道事業	2.0%		0.3%
バス事業	0.7%		0.6%

## ホテル事業 「客室稼働率」前年増減

	第1四半期(4月～6月)	→	第2四半期(7月～9月)
シティホテル	1.5 pt		2.8 pt
ビジネスホテル	5.6 pt		2.8 pt

既存店ベース

## 旅行事業 「取扱高」前年増減率

	第1四半期(4月～6月)	→	第2四半期(7月～9月)
総計	12.1%		3.4%
(国内)	8.4%		3.4%
(海外)	16.0%		3.4%

# 2011年度 事業計画の進捗状況

# 第12次中計及び 2011年度事業計画の方針等



< 第12次中期経営計画 グループビジョン >

## 「**変革に挑む西鉄グループ**」

～時代に適応した全事業の構造転換と、新たなお客さま満足の創造～  
～私たち一人ひとりの意識改革により実現を目指します～

< 2011年度 事業計画 基本方針 >

『事業構造改革の推進と新たな事業モデルによる売上拡大』

『CSR経営のさらなる浸透に向けた取組み推進』

### 重点戦略

#### 事業の構造改革・ 再編の推進

事業モデルの変革・  
不採算事業の縮小・撤退  
グループ事業の再編  
間接コストの圧縮

#### 新たな事業価値の創造

福岡都心部への集客強化  
グループ連携・  
地域密着化の推進  
新たな成長市場への  
対応強化  
人材力の向上

#### CSR経営の更なる深化

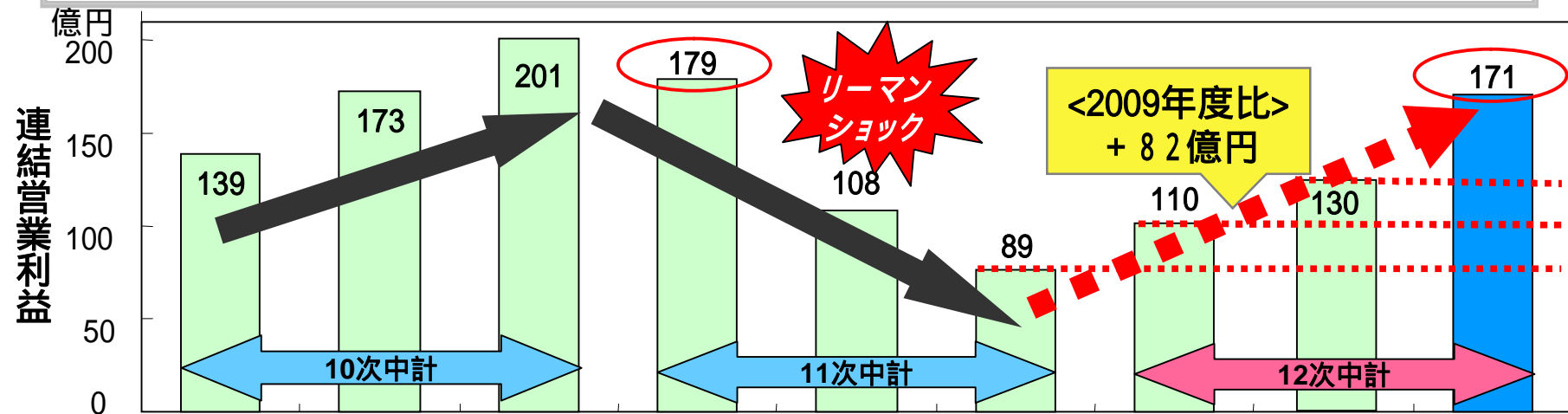
安全・リスクマネジメント  
の継続的推進  
環境マネジメントの  
取組み推進  
CSの向上、  
地域・社会との共生

# 第12次中計の業績目標の基本的な考え方



リーマンショック後の売上・利益の落ち込みの回復

新たな成長に向けた基盤づくり  
 (事業の構造改革・新たな収益モデルの構築)



	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
連結ROA	3.6%	4.4%	5.0%	4.5%	2.7%	2.2%	2.8%	3.3%	4.5%
連結ROE	5.1%	8.9%	9.2%	6.5%	1.0%	2.9%	5.7%	5.0%	7.3%

2004～2010年度・・・実績、2011年度・・・予想(第2Q決算時点)、2012年度・・・第12次中計

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

# 《事業の構造改革・再編の推進》 各事業の構造改革進捗状況



	営業利益 '09実績	'10 実施施策	営業利益 (実績)	'11 進捗状況	営業利益 (予想)	営業利益 '12中計
バス 事業	21 億円	<b>【乗合バス】</b> ・合理化(路線廃止・減便(約100路線)) 116台、145人、拠点 3カ所 ・新規路線需要への対応 (九州新幹線新駅乗入 他) <b>【貸切バス】</b> ・合理化 85台、110人、拠点 3カ所	0 億円	<b>【乗合バス】</b> ・不採算路線での補助金受給に向けた協議の継続 ・新商品・サービスの導入 (観光客向け新商品 他) ・新規路線需要の対応 (郊外大型商業施設 他) ・法人営業強化	5 億円 ( )	11 億円
旅行 事業	7 億円	・組織見直し、管理部門合理化 (要員削減 50名) ・重点顧客への営業強化 (行政、スポーツ) ・WEB商品強化(専任部署設置)	2 億円	・高収益商品販売強化 (チャーター、JRセット商品) ・組織・経営体制の見直し	1 億円 ( )	3 億円
ホテル 事業	5 億円	<b>【シティホテル】</b> ・組織等効率化、料飲原価削減 ・婚礼営業強化(法人向け)	3 億円	<b>【シティホテル】</b> ・飲食エリアをはじめとした機能の再配置の実施 レストランの運営効率化、 スペースの一部賃貸化、 客室や宴会場の改装 など	4 億円 ( )	8 億円

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

予想は第2Q決算時点

《新たな事業価値の創造》  
福岡都心部への集客強化



商業施設

)) 天神コア 『大規模リニューアル』(9月)

)) ソラリアプラザ 『クレジットニモカでのお買上で常時5%OFF』(9月～)



交通(バス)

『天神ライナー(福岡都心快速バス)運行』(3月～)

『福岡都市観光2階建てバス導入』(2012年春予定)



天神ライナー

連携による取組み

)) グループ連携 『それなら！にしてつ電車・バスで天神に行こうキャンペーン』(8月)

電車・バスでの天神往復利用  
+  
当社商業施設での一定額以上の買物



片道運賃相当分の  
ニモカポイントプレゼント

)) 地域連携 We Love 天神協議会等との連携  
(屋外スケートリンクの開設(12月))



屋外スケートリンク イメージ図

《新たな事業価値の創造》  
地域ニーズへの対応強化



## まちづくり

福岡中心部(福岡市中央区今川)での大型複合開発推進(敷地約4,700坪、建物10,000坪超)

マンション+商業施設(2014年竣工予定)

リノベーション事業の拡大

1棟リノベーションも実施(福岡市中央区)

シニアマンションの開発推進

「サンカルナ二日市」開業(8月)、

「サンカルナ小倉大手町」(2013年5月竣工予定)

大型複合開発用地 位置図(福岡市中央区)



## 交通サービスの強化

### )) 鉄道

鉄道のパーク&ライド施設整備(久留米エリア・香椎エリア等)

駅施設の改修(女性トイレ改修、バリアフリー工事等)

### )) バス

フィーダー路線新設(九州新幹線駅・大型商業施設など)(3月~)

駅~公共施設を経由するバス路線の新設(福岡南西部)(10月~)



《新たな事業価値の創造》  
地域ニーズへの対応強化



### 交通計画部の新設

交通事業をとりまく環境の変化に対応し、バス・鉄道の今後のあり方や機能向上にむけた施策を検討・推進する専任部門

### ICカードの普及と活用

#### )) “地域No.1カード”維持に向けた取組み

- ・利用機会の拡大(スーパーマーケット全54店舗への導入、利用可能自販機の拡大等)
- ・銀行、学校、航空会社などとの提携拡大
- ・他バス事業者への導入推進(「ICカードシステム + バスナビシステム」販売推進)

#### )) ニモカデータを活用した営業強化策

- ・商業施設における顧客分析・販促への活用
- ・鉄道駅勢圏データの作成・分析
- ・西鉄久留米駅での鉄道・バス・ストア連携による実証実験

発行枚数  
151万枚  
(10/31現在)



《新たな事業価値の創造》  
新たなマーケットへの進出



}} ホテル

- ・西鉄イン ▶ 那覇(6月開業)
  - ・ソラリア西鉄ホテル  
(宿泊主体型上級ブランドホテル)
    - ▶ 銀座(9月開業)
    - ▶ 鹿児島(2012年5月開業予定)
- 首都圏 & 九州全域での  
“ソラリア” ブランド浸透

銀座



鹿児島(イメージ)



}} オフィスビル

- ▶ 西鉄日本橋ビル(仮称) (2012年5月開業予定)

西鉄日本橋ビル(イメージ)



}} 分譲マンション【福岡県外エリアでの他社との共同開発推進】

- ▶ 【JR九州】熊本「MarkS City the 大江」(2013年2月竣工予定)
- ▶ 【双日九州】鹿児島「レジオン・サンリヤン照国町(仮称)」  
(2013年2月竣工予定)

《新たな事業価値の創造》  
流通業の強化



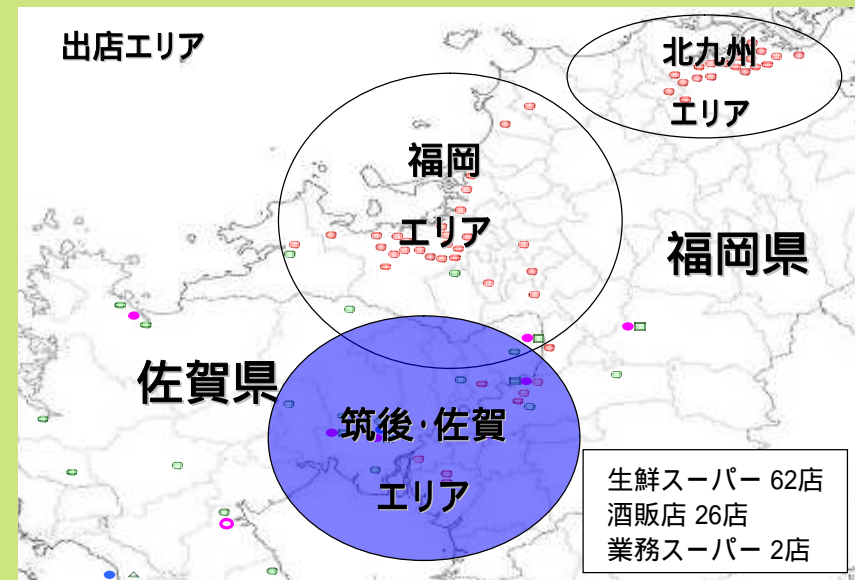
\\ スーパーマーケット事業

▶ 『ストア計画室』を新設

- ・収益構造改善、事業規模拡大を強力に推進する体制を構築

▶ (株)あんくるふじやの概要

- ・筑後・佐賀地域を地盤とし、生鮮スーパー・酒販店を展開
- ・売上高：150億円(2010年度実績)、  
店舗数：36店舗(生鮮スーパー8店、酒販店26店、他)



\\ 雑貨館インキューブ

▶ 店舗数の拡大

- ・4月に「木の葉モール橋本店」(福岡市西区)をオープン



インキューブ  
「木の葉モール橋本店」

《新たな事業価値の創造》

## 国際物流事業の拡大



### 海外売上の拡大

#### ▶ 三国間輸送のさらなる強化

- ・当社海外ネットワークの拡充と活用
- ・当社グループ間での三国間輸送のオペレーション標準化
- ・システムを活用したタイムリーな出荷情報の提供

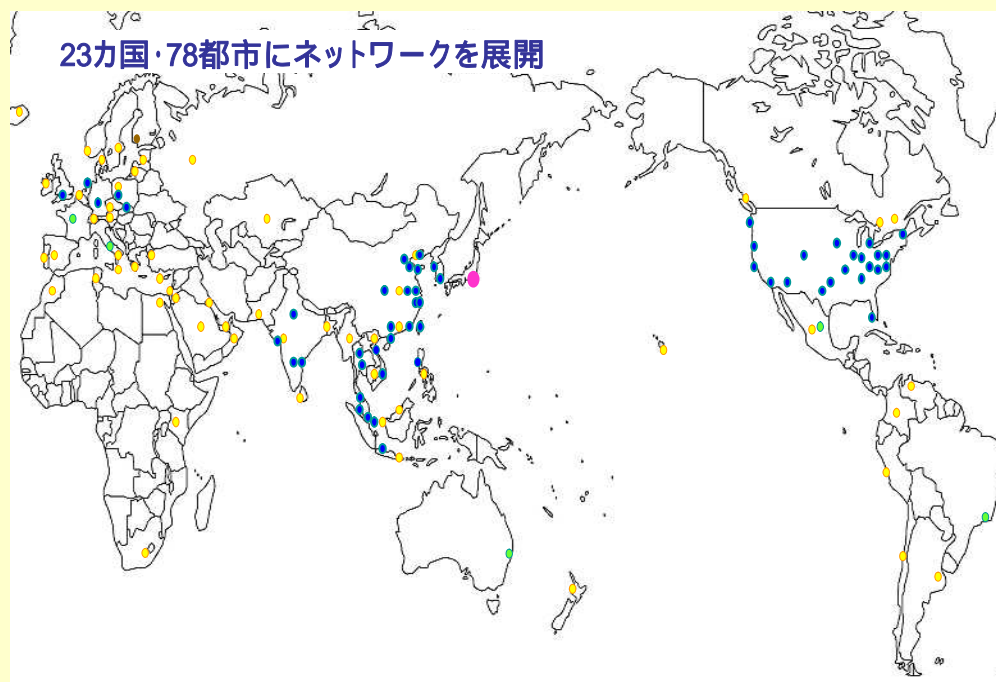
### 海運・ロジの強化

- ・海運自社定期混載便の増強

大阪 上海(週2便)の運航を開始

混載効率の向上

- ・自社CFSを活用した海上コンテナ貨物の取扱拡大(米国社)
- ・海運システムの改善と機能強化(Webを活用した顧客サービスの開始など)



《新たな事業価値の創造》

## 国際物流事業の拡大



### 海外現地法人の取組み

#### 》主要拠点のゲートウェイ化推進

##### 中国

- ・大連・天津・上海・深圳・香港のゲートウェイ化  
国内物流網の拡充、サービス多機能化
- ・拠点増設 瀋陽(北京社)、重慶(上海社)

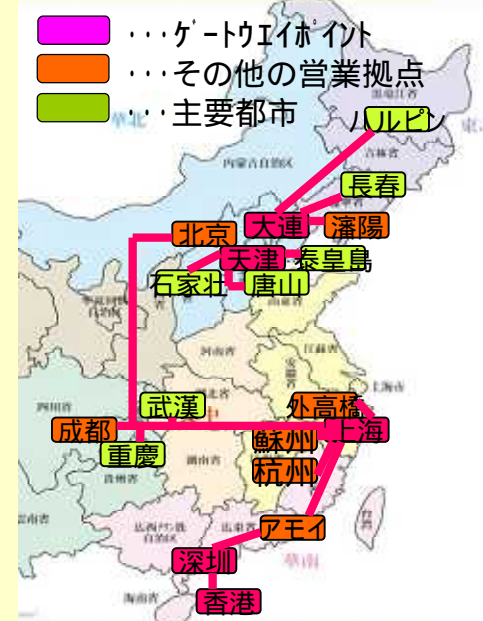
##### 欧州

- ・ハブとなる空港 & 港湾のゲートウェイ化  
アムステルダム ベネルクス、ドイツ北西部向け  
フランクフルト フランス国境地区、東欧向け  
ウィーン ハンガリー向け

##### 北米(西海岸エリア)

- ・ロサンゼルスにおけるハブ機能構築  
サンフランシスコ、サンディエゴ、フェニックス、アルバカーキー、デンバー、メキシコ向け

【中国国内での展開(沿岸～内陸)】



中欧・東欧市場への拡大

《新たな事業価値の創造》  
アジアの活力の取込み



インバウンド対応の充実

)) 福岡への誘客強化

アジアに向けた情報発信強化

- ・WEB活用によるSUNQパス・天神コアの情報発信
- ・「LoveFM」の海外提携局拡大

)) 観光者向けサービス強化

『FUKUOKA体験バスチケット』の発売(4月～)

内 容:バス2日間フリーチケット+福岡の様々な体験ができる観光チケットのセット  
発 売:2011.4.28～  
販売価格:5,500円



【ハングル語サイトでの情報提供】

アジアでの新たな事業に向けた取組み

)) JICA等と連携したアジアでの交通関連プロジェクトに参画



# CSR経営の更なる深化



## 安全マネジメント

23年度安全投資 47億円

### ➤ 安全性向上策の取り組み

- ・完全輸送運動、ヒューマンエラー未然防止活動の継続実施、  
鉄道新型運転シミュレータによる乗務員教育強化

### ➤ 安全投資の実施

- ・高架構造物の耐震補強、ホーム改良、旅客案内装置更新 など

新型シミュレータ  
の運転台



## 環境マネジメント

### ➤ 改正省エネ法への対応推進

### ➤ 商品・サービスの環境対応推進

- ・長期優良住宅「eco100」の販売推進    ・ハイブリッドバスの導入継続    など

### ➤ 節電への継続的な取り組み

### ➤ にしてつグループ **E** **C** プロジェクト(“N - ecoふる”)の推進

## CS向上、地域・社会との共生

### ➤ あいさつ・美化運動の推進、社内モニター制度の実施



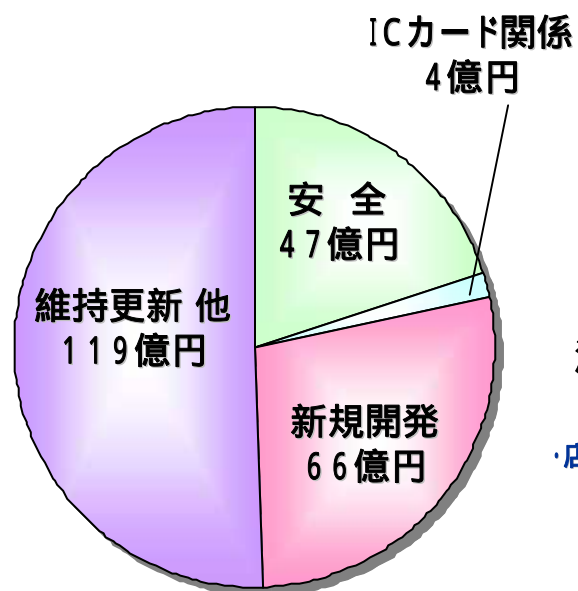
ハイブリッドバス

# 2011年度 投資計画

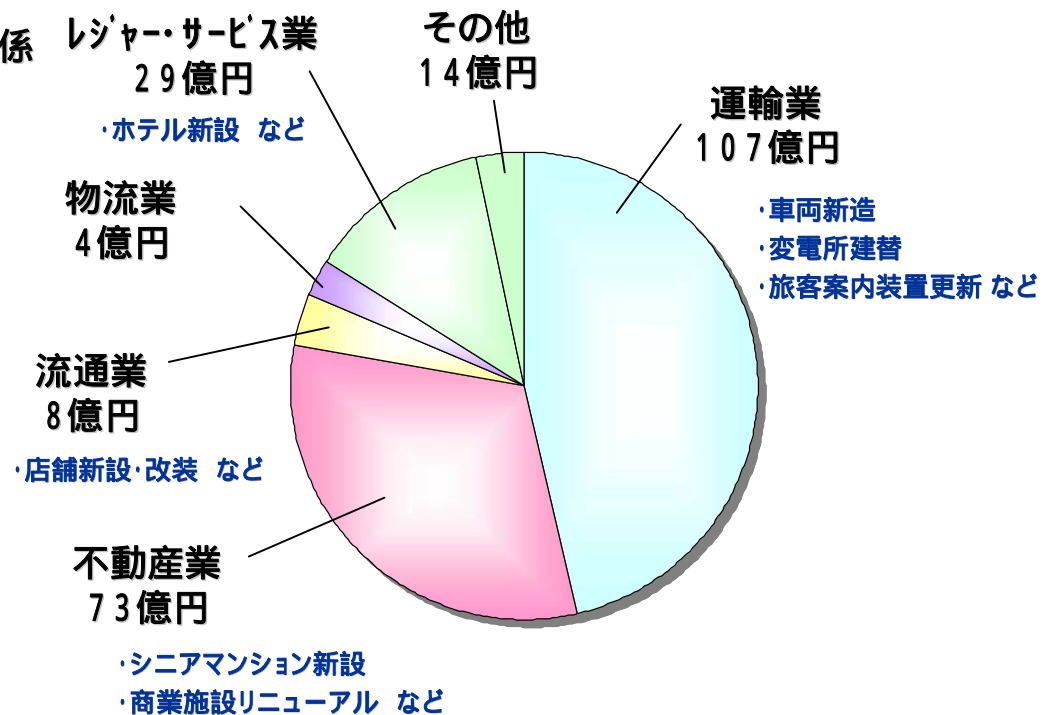


【2011年度総投資額 235億円】

## 投資種別の内訳



## セグメント別の内訳



## 投資額の推移

年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度計画
総投資額	255億円	373億円	265億円	265億円	235億円



# 2011年度 収支予想

# 2011年度 連結収支予想



	12年3月期 (予想)	11年3月期 (実績)	増減額	増減率
営業収益	3,254億円	3,239億円	15億円	0.5%
営業利益	130億円	110億円	20億円	18.4%
経常利益	112億円	92億円	20億円	21.9%
当期純利益	52億円	58億円	6億円	10.1%
減価償却費	201億円	218億円	16億円	7.4%
E B I T D A	334億円	331億円	3億円	0.8%
設備投資	235億円	265億円	30億円	11.2%

# 2011年度 セグメント別収支予想



		12/3期 (予想)	11/3期 (実績)	増減額	増減要因
運 輸 業	営業収益	840億円	846億円	6億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道事業の減益</li> <li>● バス事業の赤字解消</li> </ul>
	営業利益	31億円	31億円	0.1億円	
不 動 産 業	営業収益	523億円	506億円	17億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不動産分譲事業の増益 (マンション販売戸数増)</li> </ul>
	営業利益	83億円	73億円	10億円	
流 通 業	営業収益	730億円	768億円	38億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストア事業の減収(他店との競合) (前期決算期変更に伴う月数差)</li> </ul>
	営業利益	7億円	8億円	1億円	
物 流 業	営業収益	715億円	676億円	39億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際物流事業の増益</li> </ul>
	営業利益	17億円	10億円	7億円	
レジャー・サービス業	営業収益	362億円	347億円	15億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行事業の赤字解消</li> </ul>
	営業利益	0.0億円	2億円	2億円	
そ の 他	営業収益	448億円	475億円	27億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期、バス車体製造事業の廃止</li> <li>● ICカード事業の赤字縮小</li> </ul>
	営業利益	0.0億円	6億円	6億円	

<参考> 2011年度  
セグメント別予想(減価償却費・E B I T D A・設備投資)



		12/3期(予想)	11/3期(実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	101億円	114億円	13億円
	E B I T D A	132億円	145億円	13億円
	設 備 投 資	107億円	78億円	29億円
不 動 産 業	減 価 償 却 費	58億円	58億円	1億円
	E B I T D A	142億円	135億円	7億円
	設 備 投 資	73億円	101億円	28億円
流 通 業	減 価 償 却 費	7億円	8億円	1億円
	E B I T D A	15億円	17億円	2億円
	設 備 投 資	8億円	13億円	5億円
物 流 業	減 価 償 却 費	7億円	8億円	2億円
	E B I T D A	24億円	18億円	5億円
	設 備 投 資	4億円	6億円	2億円
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	22億円	21億円	1億円
	E B I T D A	23億円	20億円	3億円
	設 備 投 資	29億円	42億円	13億円
そ の 他	減 価 償 却 費	14億円	15億円	1億円
	E B I T D A	14億円	9億円	5億円
	設 備 投 資	14億円	24億円	10億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

# <参考> 2011年度 主なセグメント収支予想



			12/3期 (予想)	11/3期 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	224億円	227億円	2億円
		営業利益	25億円	30億円	5億円
	バス事業	営業収益	612億円	615億円	3億円
		営業利益	5億円	0.4億円	5億円
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	267億円	264億円	3億円
		営業利益	62億円	62億円	0.2億円
	不動産分譲事業	営業収益	183億円	168億円	15億円
		営業利益	18億円	9億円	9億円
物流業	国際物流事業	営業収益	711億円	670億円	41億円
		営業利益	15億円	8億円	7億円
サービス業 レジャー・	ホテル事業	営業収益	170億円	156億円	15億円
		営業利益	4億円	3億円	1億円
	旅行事業	営業収益	44億円	46億円	2億円
		営業利益	1億円	2億円	2億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

営業収益、営業利益は単純集計です。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。